

令和8年度 当初予算

真岡市総合計画  
2025 - 2029

重点プロジェクト  
(令和8年度重点取組)

令和8年2月



いちご王国栃木の首都

も お か

真岡市

## 1 はじめに

本書は、令和7年度に実施した行政評価における事務事業評価や施策評価、政策評価を踏まえて決定した各施策の方向性や、「真岡市総合計画2025-2029」に掲げるまちづくりの基本戦略をもとに、「選ばれる都市(まち)もおか」の実現のため、令和8年度に本市が取組む重点プロジェクト(重点取組)と定めたものです。

なお、令和8年度は「真岡市総合計画2025-2029」の2年目となることから、将来都市像の実現に向け、時代の潮流を的確にとらえ、各種施策に掲げる事業の積極的な推進を図ります。

## 2 政策の大綱 ～基本的な考え方～

### ●政策の大綱

---

「総合計画2025-2029」に掲げる、

- 1 「人づくり」～豊かなこころアップ！～
- 2 「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～
- 3 「にぎわいづくり」～まちの活力アップ！～
- 4 「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～
- 5 「環境づくり」～安全なまちアップ！～
- 6 「魅力づくり」～市民の力アップ！～
- 7 「行政経営づくり」～効率・効果アップ！～

の7つの政策を柱に、37施策を積極的に展開していきます。

各事務事業の展開にあたっては、事務事業評価結果を的確に反映します。

また、令和12年までの国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)にむけた取組みを積極的に進めるとともに、真岡市 DX 戦略計画に基づき「誰ひとり取り残さない、人に優しい」サービスの実現を目指し、デジタル技術の活用によりアナログの価値を高め新たな価値を全ての市民及び関係者に継続的に届けるため、市役所の組織風土の変革・BPR(業

務改革)・働き方改革に取り組みます。

各施策の推進にあたっては、市が役割を果たすだけでは達成できないものも少なくないことから、様々な地域課題の解決のため、市民や関係団体、企業等と行政が協力して新たな価値を創造していくことを目指す「協創(共創)のまちづくり」の視点を取り入れ事業を進めていきます。

－将来都市像－

**JUMP UP もおか ～だれもが“わくわく”するまち～**

政策名	施策 No.	施策名
<b>1 「人づくり」</b> ～豊かなこころアップ!～	1-1	確かな学力の育成
	1-2	心の教育と健やかな体づくり
	1-3	国際化に対応した教育
	1-4	生涯学習の推進
	1-5	青少年の健全育成
	1-6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
	1-7	文化芸術の振興と文化財の保護・継承
	1-8	国際交流の推進
<b>2 「笑顔づくり」</b> ～安心と元気アップ!～	2-1	子育て支援の充実
	2-2	共に支え合う地域福祉の推進
	2-3	高齢者福祉の充実
	2-4	障がい者の自立と社会参加の支援
	2-5	生活保護と自立支援
	2-6	健康づくりの推進
	2-7	地域医療体制の充実
<b>3 「にぎわいづくり」</b> ～まちの活力アップ!～	3-1	農業の振興
	3-2	商業の振興
	3-3	工業の振興
	3-4	観光の振興
	3-5	雇用の安定と創業支援の推進
<b>4 「都市づくり」</b> ～暮らしやすさアップ!～	4-1	良好な市街地の形成
	4-2	安全で快適な住まい・まちづくり
	4-3	道路ネットワークの整備
	4-4	公共交通ネットワークの整備
	4-5	安定した上下水道サービスの提供
<b>5 「環境づくり」</b> ～安全なまちアップ!～	5-1	循環型社会の構築
	5-2	自然環境の保全と地球温暖化対策の推進
	5-3	生活環境の保全
	5-4	防災体制の整備・強化
	5-5	交通安全の推進
	5-6	防犯対策と安全で安心な消費生活の推進
<b>6 「魅力づくり」</b> ～市民の力アップ!～	6-1	都市ブランド戦略の推進
	6-2	市民協働のまちづくり
	6-3	男女共同参画社会の実現
<b>7 「行政経営づくり」</b> ～効率・効果アップ!～	7-1	窓口サービスの向上
	7-2	開かれた市政の推進
	7-3	安定した行財政運営

### 3.まちづくりの基本戦略 ～重点プロジェクト～

#### ●まちづくりの基本戦略の方向性

ふるさと「真岡市」が、栃木県をリードし、全国に誇れる都市となるためには、市民との「絆」を大切にし、対話・協働・連携を深めながら「選ばれる都市もおか」を実現するため、以下の2つの共通事項及び5つの重点プロジェクトをまちづくりの基本戦略と位置づけ、リーディングプロジェクト(先導的・戦略的・横断的な取組)として重点的に取り組みます。

#### Project.1 こどもの元気な成長プロジェクト

#### Project.2 若い世代・子育て応援プロジェクト

#### Project.3 安心な暮らしの実現プロジェクト

#### Project.4 とちぎをリードする産業プロジェクト

#### Project.5 まちの活力再生・魅力創出プロジェクト

#### (1)共通事項

社会情勢を踏まえ、7つの政策で共通して取り組む事項として「SDGs」と「DX」を位置づけます。

##### ■共通事項①

#### SDGs(持続可能な開発目標)の推進

SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」は、本市が目指すべきまちづくりの方向性にも合致することから、各施策とSDGsとの関連を明らかにしながら、行政・企業・個人が一体となって積極的な取り組みを進め、SDGsへの貢献に努めていくものとします。

##### ■共通事項②

#### DX(Digital Transformation)の推進

デジタル技術の急速な発展や利用の拡大に伴い、社会全体のデジタル化に向けた取り組みがますます重要になってきていることから、デジタル技術の活用によりアナログの価値を高め、誰一人取り残さない やさしい都市(まち)の実現のために、すべての分野においてDXに努めていくものとします。

## (2)重点プロジェクト

### Project.1 こどもの元気な成長プロジェクト

#### 主な取組

##### ● 学力向上推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22,201千円

学力の向上を目指すため、市独自の真岡市総合学力調査を年2回実施し、調査の分析結果をもとに、学力・学習状況の指導内容・方法の工夫改善を行い、教員の指導に生かしていきます。あわせて、学力向上推進研修会や指導主事の学校訪問による授業支援等を行い、教職員の指導力向上を図るとともに、複数担任制のための非常勤職員を配置し、個別指導の充実に取り組むことで、児童生徒の学力向上を図ります。

また、読書活動の推進及び学校図書館の充実を図るため、学校図書館業務を行う司書を市内全小中学校に巡回配置します。

##### ● 情報教育推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97,867千円

デジタル教科書や電子黒板等のICT機器を活用した質の高い教育を推進し、さらなる学力向上を図るとともにICT活用に関する教員研修の充実やICT支援員との連携を強化し、教職員のスキルアップを図ります。

また、採点システムの全9中学校への導入により、教員の業務時間の削減を図るとともに、教育データの利活用による教員の指導力向上及び生徒の学力向上につなげます。

##### ● コミュニティ・スクール推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,968千円

令和8年度に新たに6校がコミュニティ・スクール導入予定であり、市内全小中学校への導入が完了します。今後、さらに学校と地域との連携・協働体制を強化し、地域とともにある学校づくりを推進していきます。

##### ● 特別支援教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61,917千円

障がいのある児童生徒に対する日常生活動作の介助や、配慮が必要な児童生徒の学習サポートを行うために、引き続き各校に特別支援教育支援員を配置します。

また、特別支援教育アドバイザーによる自立に向けた指導・助言や、心理相談員による児童生徒や保護者に対する適切なアドバイスを行います。

##### ● 教育相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38,236千円

不登校及び特別支援教育等に関する相談体制を強化するため、高度で専門的な視点から適切なアドバイスができる心理相談員、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育アドバイザーと十分連携するとともに、大規模小学校に学校支援相談員を配置します。また、校内教育支援センターを全中学校に設置し、学校には行けるが、自分のクラスに入りづらい児童生徒が、学校内の居場所を確保することで、不登校を未然に防止し、登校復帰を支援します。

##### ● 海外友好都市交流推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,148千円

国際化に対応し活躍できる人材の育成を目指し、学校間交流や高校生の海外留学、インターンシップなどの人材交流を支援します。また、交流の担い手の育成として、国際交流ボランティアの活動を推進し、交流団体との連携を強化します。

さらに、海外友好都市3都市との相互訪問やオンライン交流を継続的に実施し、市民が主体的に参加できる国際交流イベントや講座を開催するとともに、情報発信の強化により異文化理解と国際交流への関心を高めます。



## Project.2 若い世代・子育て応援プロジェクト

### 主な取組

#### ● こどもの健全な育成のための環境整備事業…………… 35,307千円

子育て環境の充実を図るため、妊娠期から子育て期における様々な不安や悩みに対し、母子保健と児童福祉の両部門が連携・共同のもと一体的な相談支援や子育てサービスの提供を行い、切れ目のない子育て支援を行います。

真岡市子ども家庭センターの設置に併せて、子ども家庭ソーシャルワーカーを配置し、相談業務の質の向上と更なる相談支援体制の強化を図ります。

#### ● 支援を要する家庭・こどもの早期発見と対応強化事業…………… 34,929千円

こどもの権利が守られ、子どもたち一人ひとりが健全に成長できる環境づくりに向け、多様かつ複合的な困難を抱えるこどもの貧困の解消や養育支援のため、専門的な対応ができる支援体制を推進します。子育て家庭の様々な負担の軽減をはかるため、家事・子育て等の生活支援を実施することにより、家庭や養育環境、地域の見守り体制を整えます。

また、こどもの居場所や子ども食堂事業等を運営する団体等へ補助金を交付し、安定的・継続的な運営のための団体支援を行います。

#### ● 母子保健増進事業…………… 80,078千円

妊産婦・乳幼児と母親に対する切れ目のない支援として、妊産婦健診や産前・産後サポート事業、産後ケア事業、乳児家庭全戸訪問等を実施し、相談・サポート体制を強化し、関係機関が連携し育児のきめ細やかな支援を行います。

こどもの健やかな成長のため、「monaca」内の子育て支援センターでは、子育て、図書館、地域交流の3つの機能の融合を図りながら、子育て支援機能の充実を図ります。

#### ● 保育料無償化支援事業…………… 88,702千円

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、保育所(園)、認定子ども園等に在園している0～2歳児の保育料について、第2子以降の保育料を免除します。また、第1子についても、住民税非課税世帯は無料に、ひとり親世帯は減額になります。

また、3～5歳児の副食費について、国の基準額を上限に補助を行います。

#### ● 子育てへの経済支援事業…………… 2,527,538千円

子育て家庭の様々な不安や負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整備するための経済的支援策を継続するほか、年齢に応じた各種子育てサポートを実施し、育児に不安を抱える保護者が安心して子育てができるよう育児支援を行います。

#### ● 移住定住促進事業…………… 2,944千円

本市への移住定住につながる新たな人の流れを生み出すため、特設サイト「もおかぐらし」等のデジタルによる情報発信を強化し、これまでのいちご就農に加えて移住戦略を進めるとともに、若者がチャレンジできるまちづくりを推進しシビックプライドの醸成を図ります。



## Project.3 安心な暮らしの実現プロジェクト

### 主な取組

#### ● 防災力充実強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24,037千円

自主防災組織活動を強化し、地域防災力向上を図るため、全ての自治会に防災リーダーが配置されるよう防災リーダー養成研修の周知を図るとともに、防災座談会や地区防災避難訓練等への参加、地区防災計画の策定などの支援を進めます。さらに、防災座談会や市広報紙等において、住民一人ひとりの防災行動計画である、マイ・タイムラインの作成を推進し、住民の防災意識の高揚を図ります。

また、災害時の応急体制を確立するため、消防本部や消防団等の関係機関との連携強化や、市民に対し、防災ラジオや市公式アプリなど、防災情報の多様な伝達手段の普及促進に取組みます。

#### ● 避難行動要支援者対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 748千円

風水害や地震等の災害に備え、要支援者の安否確認及び生命・身体を保護するため、平時から要支援者に関する情報を把握するとともに「避難行動要支援者名簿」を作成し、災害時における支援を関係機関に情報提供し連携を図ります。

個別避難計画の策定率を上げるため、計画の必要性の周知を行い、福祉関係各課、民生委員及びケアマネージャー等と連携し、個別避難計画の未提出者への聞き取りを行います。

#### ● 重層的支援体制整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52千円

重層的支援体制整備事業の実施にあたって、3つの支援(1. 属性を問わない相談支援、2. 参加支援、3. 地域づくりに向けた支援)について実施方法など支援内容を検討し、環境整備を推進します。

いわゆる8050問題やダブルケアなど、複雑化・複合化した相談に対し、市の関係部局及び社会福祉協議会などの関係機関との連携による包括的な支援を行います。

#### ● 介護人材確保対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9,558千円

介護人材の確保と育成、離職防止のため、介護サービス事業者や職能団体・関係機関と連携しながら、資格取得や処遇改善の支援に努めます。

#### ● 健康づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 187,063千円

生活習慣病の発症・重症化予防のため、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍への個別保健指導に加え、市民全体へ食事や運動を含めたよりよい生活習慣の推進について知識の普及啓発を図ります。

また、脳卒中発症予防のため、高血圧や高コレステロール血症など脳血管疾患の発症要因となる知識の普及や、減塩・運動などの保健指導、生活習慣の改善に努めます。



● **空き家対策事業**..... **18,746千円**

将来的に空き家が周囲に著しく悪影響を及ぼす特定空家等の状態になることを未然に防止するため、管理不全空家等の所有者等に対して適正な管理を促すとともに、状況に応じて補助金を活用した除却や利活用の促進を図ります。

あわせて、適正に管理が進まない空き家の所有者等に対して固定資産税等の住宅用地特例措置の適用対象からの除外についての周知を図ります。

また、利活用できる空き家について、協定を締結している民間事業者等と連携し、空き家バンク事業を活用することにより、移住・定住に寄与するとともに、空き家の市場流通を推進します。

● **市道維持補修事業**..... **463,749千円**

市道については、舗装長寿命化修繕計画及び橋梁長寿命化修繕計画に基づき、安全かつ円滑な交通確保のため舗装や橋梁の適切な維持管理・修繕を推進します。また、安全で快適な自転車利用環境創出のため、自転車ネットワーク計画に基づき自転車通行空間の整備についても推進します。

● **水道・下水道経営効率化推進事業**..... **576,833千円**

水道・下水道事業が将来にわたり安定的かつ持続可能な事業経営を行えるよう、老朽化した施設や管路の更新・耐震化を着実に進めるとともに、適切な料金体系の検討・適正化を図ります。事業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、公共料金審議会からは今後の収支見通しに基づく料金水準の見直しが必要との答申が示されたことから、将来の安定供給を確保するため、適切な料金改定を進めます。

水道事業においては、個別訪問や啓発活動による加入促進に加え、民間委託や広域連携によるサービスの向上を図ります。また、人口規模に応じた管路整備や事故を未然に防ぐため定期的な漏水調査を行うことにより、費用削減と経営効率化に取り組みます。

下水道事業においては、個別訪問や啓発活動による加入促進を図ります。また、民間委託の拡大や水処理センターの包括的維持管理業務委託、下水道管内部のテレビカメラ調査や目視調査による不明水削減を実施するとともに、農業集落排水施設の再編を検討し、費用削減と経営効率化に取り組みます。

● **水道・下水道施設維持管理事業**..... **594,702千円**

水道事業では、水道水の安定供給に向け、維持管理と耐用年数を経過した設備の計画的な更新と施設の耐震化を図ります。また、施設の耐震化に併せ、濁り水解消に向け、より良質な水道水を供給するための施設整備を進めます。

下水道事業では、積極的に国庫補助事業を導入し、計画的な下水道施設の改築・更新を進め、施設・設備の健全化を図ります。



## Project.4 とちぎをリードする産業プロジェクト

### 主な取組

#### ● 新規就農者育成確保支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72,918千円

新規就農者の確保に向け、県内外の就農相談会へ参加し、農業の魅力や就農環境についてPR活動を行います。  
また、就農希望者が安心して農業経営ができる環境整備に向け、県やJAなどをはじめ関係機関と情報共有できる体制づくりを引き続き進めます。

#### ● いちご生産施設整備等支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16,900千円

いちご生産量日本一の産地の維持及び育成強化を図るため、パイプハウス整備費用補助等を実施し、いちごの新規導入または生産規模拡大を支援します。また、いちご生産の多収化、高品質化、技術継承の迅速化、労働力不足の解消等のいちご生産への課題に対して効果が期待されるICT機器の導入支援を継続し、生産環境の見える化と栽培技術の底上げにつなげます。

#### ● スマート農業普及支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6,576千円

高精度な位置補正情報を提供するRTK基地局を運営し、基地局を活用する農業用ドローンや自動走行農機などの先端技術を活用したスマート農業機械の導入支援に努め、農作業の省力化や、安定した農業経営を支援します。また、スマート農業への理解促進を図るためPR活動を実施します。

#### ● 中小企業支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,100千円

市内中小企業者を対象とした新製品開発・販路開拓支援や事業継承者支援、小規模事業者支援として、各種補助金を交付し、地域産業の振興や地域経済の活性化を図ります。また、産業財産権取得事業費補助として、中小企業者が開発した製品、技術、意匠等に係る出願経費の一部を支援し、経営基盤の安定及び体質強化を支援します。

#### ● 創業支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 500千円

創業者の育成のため、各種補助金交付のほか、商工団体主催の創業セミナー開催を支援します。また、創業前の支援や相談だけでなく、創業後も継続して支援できる体制づくりを進めます。

#### ● 企業誘致事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32,000千円

真岡市の工業の振興と将来にわたる雇用を創出するため、工業団地・産業団地に立地した企業に対するの優遇措置として各種補助金を交付するとともに、定着化促進を支援します。また、既存団地内未利用地や工場跡地など工業用地の有効利用を促進します。

#### ● 産業団地整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219,235千円

真岡てらうち産業団地へ立地する内定企業とのオーダーメイド方式による宅地造成工事等を進めます。また、造成が完了した区画について内定企業との土地売買契約を進めるとともに、企業誘致にあたっては、「真岡てらうち産業団地企業誘致基本方針」に基づき、本市の地域経済の持続可能な発展に資する優良企業を誘致することで、雇用の創出、移住・定住の促進及び財政基盤の確立を図ります。



## Project.5 まちの活力再生・魅力創出プロジェクト

### 主な取組

#### ● 中心市街地活性化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10,480千円

中心市街地の空き店舗の利活用を推進し、「monaca」を絡めた回遊性の創出と賑わいのある街づくりを図るため、空き店舗の利活用を希望する相談者に対し、情報提供ができるよう商工団体や民間・NPO法人等と連携体制を強化し、補助制度の周知を図ります。

また、空き店舗を利活用した新規出店者に対し店舗改装費等の補助を行うとともに、中心市街地リノベーション事業対象区域と中心市街地空き店舗等活用事業補助金対象区域が重複する区域では、改装費等を上乘せし、空き店舗の利活用を重点的に促進します。併せて、中心市街地空き店舗等活用事業補助金の対象物件を拡充するとともに、店舗兼用住宅の機能分離に係る工事費用の一部を新たに補助し、店舗部分の利活用を推進します。

#### ● 中心市街地リノベーション事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 553,410千円

中心市街地リノベーション事業として、中心市街地の未整備地域である「荒町・田町地区」については、都市計画道路中郷八木岡線の整備に向けて、事業を推進していきます。また、「台町地区」については、「ときわ町通り」の歩行環境改善のため、歩道のバリアフリー化など道路整備を推進していきます。あわせて、ときわ町通り以外の早期事業化検討路線の整備について地域と協議を進めていきます。

#### ● いがしらリゾート活性化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54,963千円

本市の地域資源でもある、自然豊かな「井頭公園」と周辺施設の「いがしら温泉おふろcaféいちごの湯」、「井頭温泉チャットパレス」、「あく里っ娘」、「観光いちご園」、「いがしらふぁーむ」等を一体化した「いがしらリゾートエリア」の整備を進め、「アウトドア」を魅力とした観光ゾーンの創出および、いちごをはじめとした農産物の魅力発信により、本市への新たな観光客層の獲得を図ります。また、ハード・ソフト事業の両面で一定の成果が得られたことから、更なる魅力向上、賑わい創出を図るとともに、本市の観光拠点の主軸で在り続けられるよう、民間と連携した効果的な運営組織の構築に向けて、事業を進めていきます。

#### ● 総合運動公園活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109,640千円

競技施設の整備が完了した総合運動公園を、屋外スポーツ活動の拠点として定着させるため、こどもから高齢者まで幅広い世代を対象としたスポーツ・レクリエーションの普及振興に取り組みます。今後は、民間のノウハウを活用した指定管理者制度を導入することにより、施設の適切な管理に加え、さらなる利用促進に向けた市民サービスの向上に努めます。

#### ● 「monaca」管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 262,817千円

「monaca」のコンセプトである「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」の実現に向けて、図書館、子育て支援センター、地域交流センターの3つの機能の融合を図りながら、複合施設の特色を活かした学びと交流の場を提供し、市民のサードプレイスとなる施設の運営に努めます。また、市民との協働による事業の展開を支援し、市民がまちづくりに参画する機会の創出に努めます。



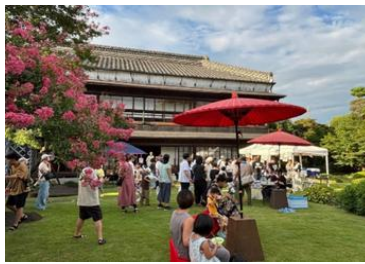
● **日本一のいちごのまちPR事業**..... **6,809千円**

日本一のいちごのブランド力と「いちご王国栃木の首都もおか」を生かすとともに、都市ブランドの向上(いちごのまちコーディネーターによるいちご関連の商品開発)、統一的・効果的なプロモーション(真岡市産いちごの統一シール作成)、情報発信力の強化(デジタル媒体を活用したPR)を柱に、更なるまちの魅力の創造、発信に繋げ、シビックプライドの醸成、地域ブランドの向上を図ります。

● **まちづくり推進事業**..... **6,384千円**

「やってみたいの一步を踏み出す場所へ」をコンセプトとして整備された、まちづくり拠点「コレカラ」の利用方法や利用実績等のPRを積極的に行い、さらなる利活用を図ります。

また、真岡まちづくりプロジェクト(通称:まちつく)の事業運営主体を民間組織へ移行し、官民協働事業として更なる事業の推進を図ります。



## その他

### 主な取組

● **窓口サービス向上事業**..... **13,736千円**

コンビニ交付やスマートフォンによるオンライン申請など、市役所に来なくても手続きが行える環境づくりを推進します。市役所窓口においては、おくやみ手続きや転入手続きで実施しているワンストップ窓口サービスを、他のライフイベントにも拡充します。

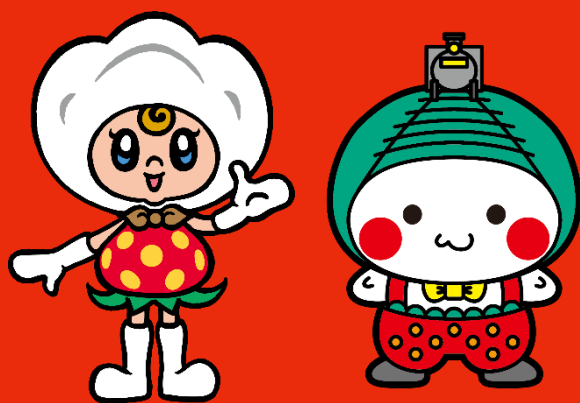
24時間365日質問に答えることができるAIチャットボットについて、生成AIを活用したより高性能で便利なサービスの導入検証を行います。

● **公共施設等総合管理計画推進事業**..... **46,844千円**

厳しい財政状況の中、人口構造等の変化に伴う市民ニーズに対応した質の高い公共サービスの提供を維持していくため、公共施設等の効率的な維持管理や建替え、再配置等を計画的に進めます。

施設の更新にあたっては、中長期的な視点による費用の削減及び平準化を図ります。

※主な取組の各事業費には、事業の内容により重複して計上しているものがあります。



真岡市総合計画  
2025-2029